



DigiNote Pro

Windows 10でペン入力



Windows 10のパソコンに外付けのペンタブレットを接続することで、デスクトップPCでもノートPCでも、これらの新機能を最大限に活用することができます。ペンタブレットを使用して可能になる便利な機能の例を下記にご紹介します。

◆デジタルインク機能

Microsoft Office のファイルに直接ペンで書き込みができます。

◆手書き文字認識機能

タブレットPC入力パネルから手書きで文字を入力し、ファイルに挿入します。

◆スニッピング・ツール

ペンで画面上の画像やファイル、Webサイトを切り取って、画像ファイルとして保存できます。

◆Windows 10 OneNote

Windows 10 OneNote、ちょっとしたメモ書きをペンで行うことができます。

◆Windows Inkワークスペース機能

手書きを想定した機能により付箋や、スケッチパッドスクリーンショット「画面スケッチ」が使えます。

◆右クリック操作

ペンでマウスの右ボタンクリック機能を行います。

◆チェックボックス

チェックボックスをチェックして複数のファイルを同時に選択します。

◆手のひらツール機能

机の上にある紙をつかんで動かすようにページを移動することができます。

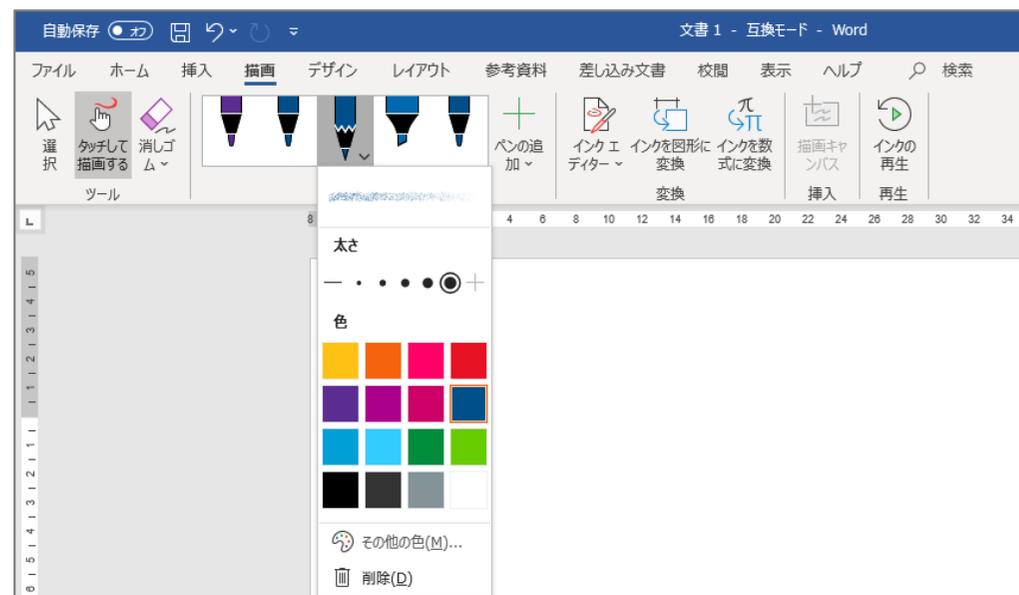
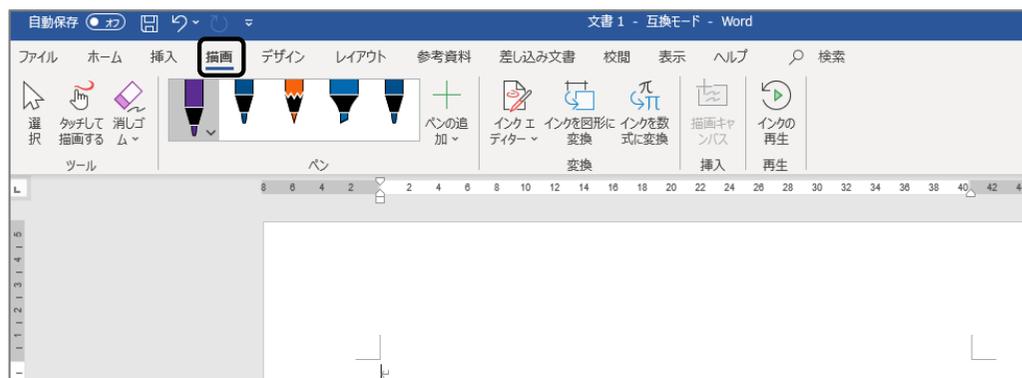
デジタルインク機能

◆Office365に書き込み

「Microsoft Office 365」の各アプリケーションでは、ペンで直接、ファイルに書き込みを行うことができます。

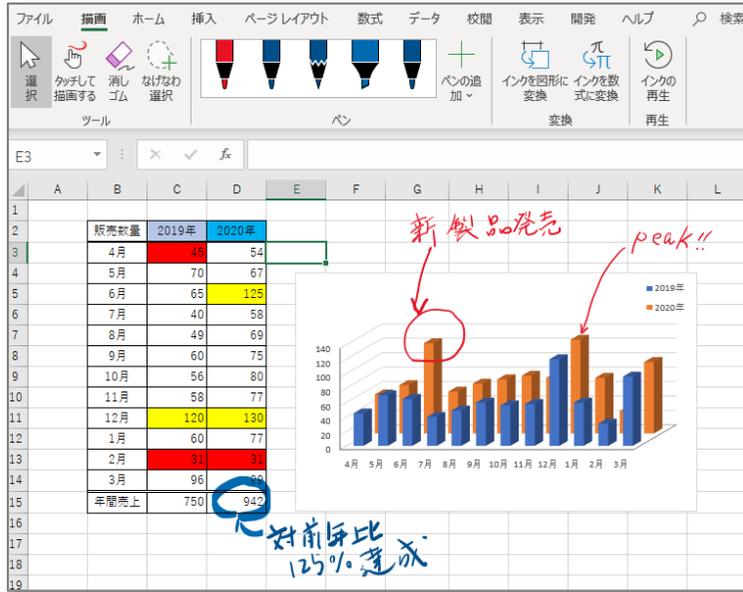
①Officeアプリケーションを開きます。「描画」タブを選択しペンで使いたいコマンドをクリックします。

②「ペン」の種類と色、太さを選択して、ファイルに直接書き込むことができます。

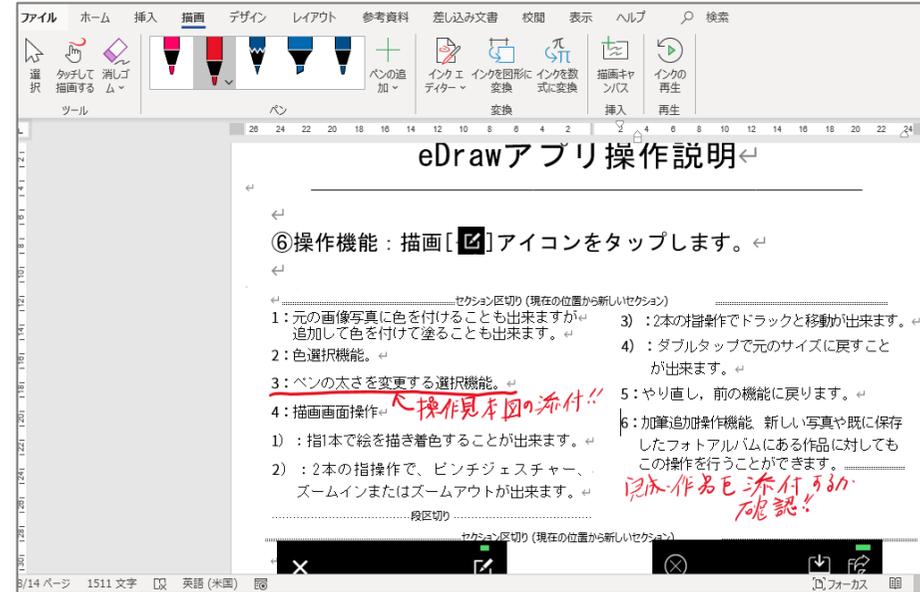


デジタルインク機能

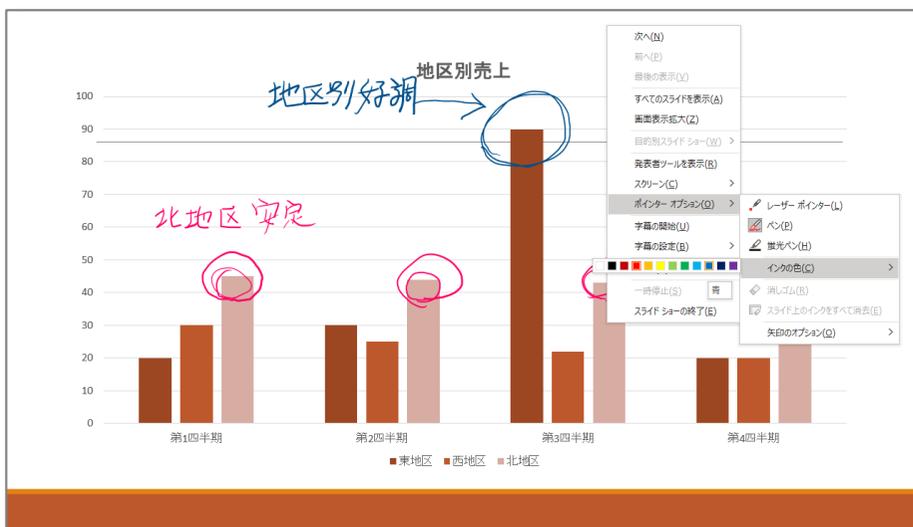
③例えば...



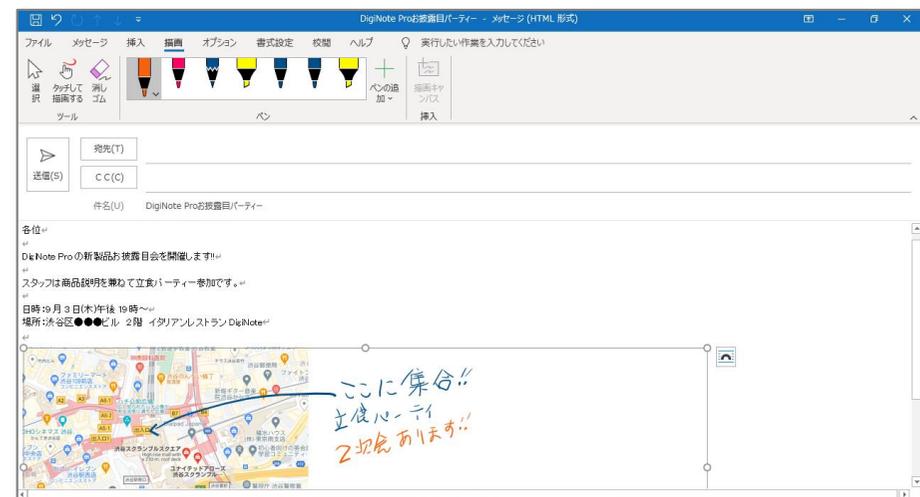
Excelの表やグラフを強調表示



Word文書の校正&手書き指示書



PowerPoint のプレゼン時に手書き

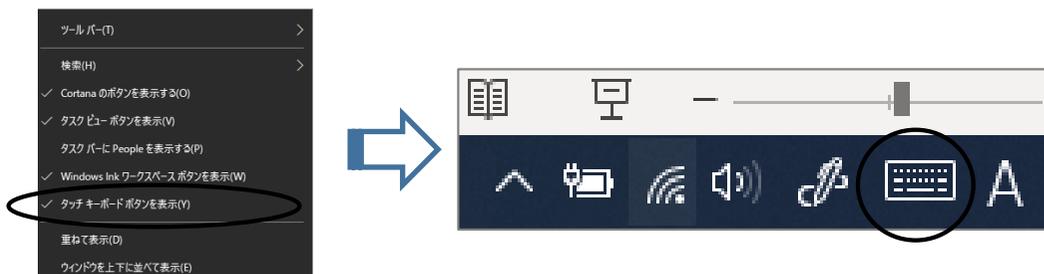


Outlook で手書きメール

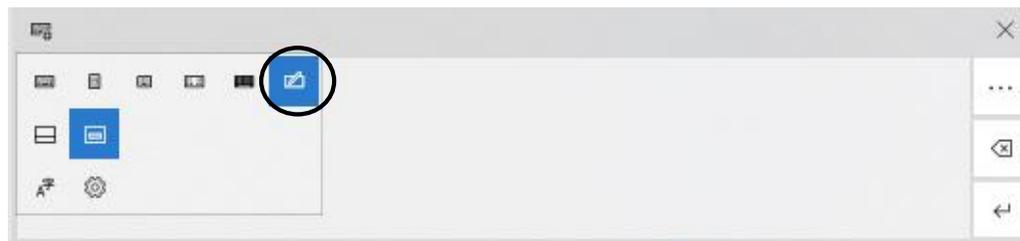
手書き文字認識機能

◆キーボードいらずでテキスト入力

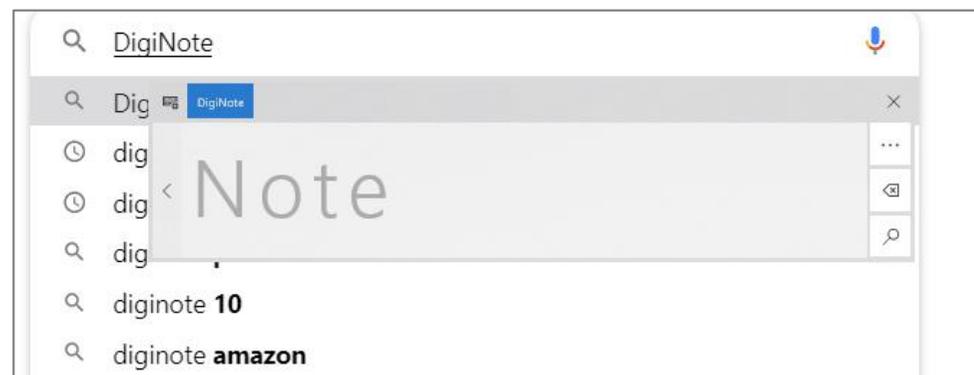
❶「タスクバー」右クリック→「タッチキーボードボタンを表示」をクリック→チェックマークを付け選択します。



❷タスクバーに表示された[タッチキーボードボタンを表示]のボタンをクリックすると[タッチキーボードボタン]が表示されます。



❸手書き文字を書く時に、入力可能なカーソル位置にて書いて入力するタブレットPC入力を 選択しクリックします。



「タブレットPC入力パネル」アイコン

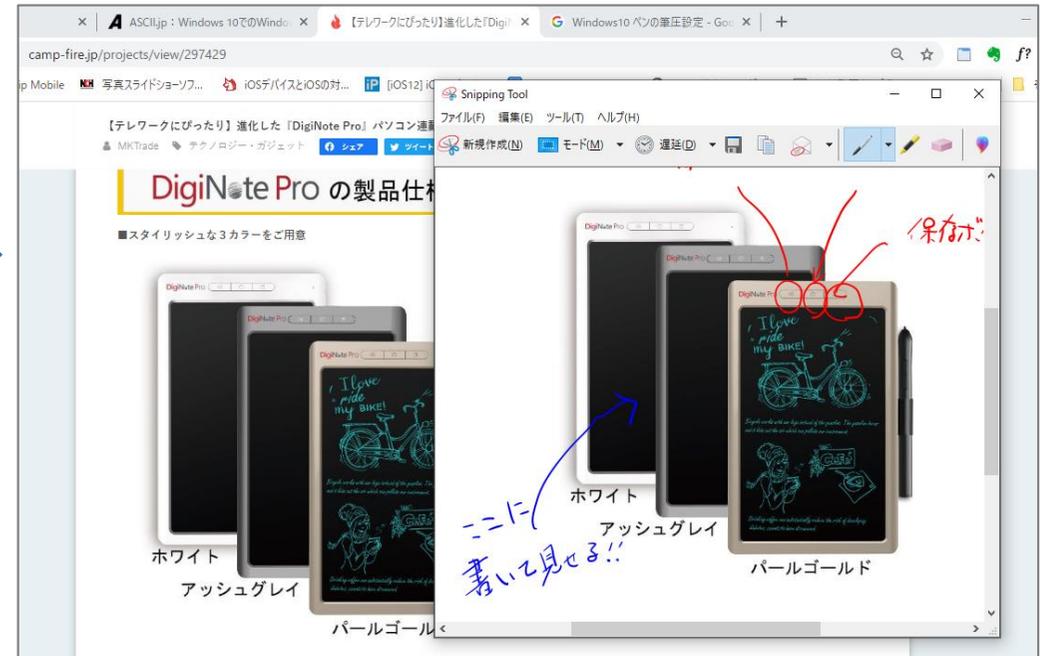
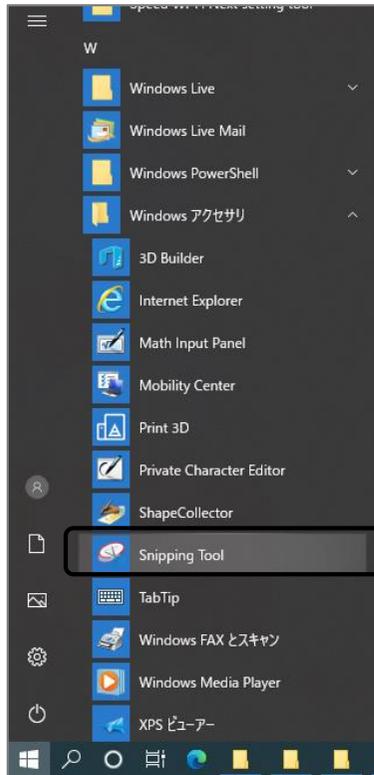
スニッピング・ツール

◆ペンで簡単、画面切り取り

上の画像をペンで囲むようにして切り取り、画像として保存できます。手書きコメントを入れたり、電子メール送ることもできます。

- ① 切り取りたいWEBサイトや画像を表示させます。
- ② 「スタート」ボタン→「Windowsアクセサリ」→「Snipping Tool」を開きます。

- ③ 画面が半透明になり、カーソルが+の形になったら、ペンで 囲み取るようにします。
- ④ 囲み取った画像部分にペンで 書き込み画像として保存したり、他のアプリケーションに貼り付けたり、メールで 送ることができます。



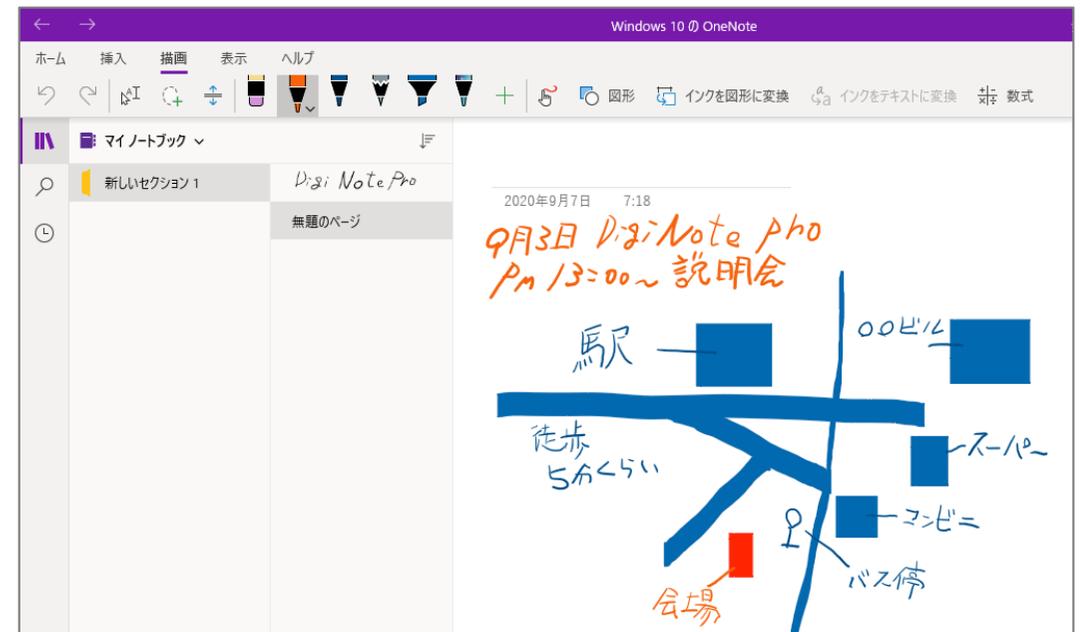
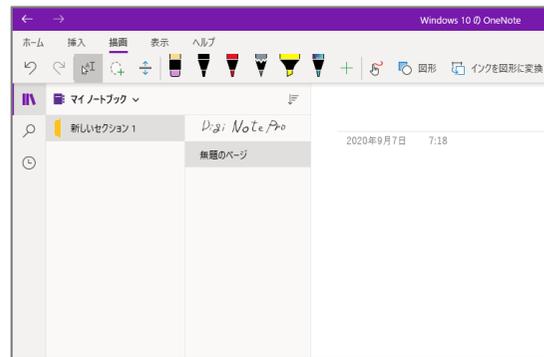
Windows 10 OneNote

◆パソコン上で手書きメモ帳

「Windows 10 OneNote」で、紙のノートに鉛筆でメモを書くように、ペンでごく自然にメモをとったり、簡単なスケッチができます。また、検索機能が組み込まれているので、手書きメモの内容でも検索が可能です。手書きイラストを図形オブジェクトに変換する機能もあります。

[スタート]メニューを開き、「Windows 10 OneNote」を選択します。

メモやちょっとしたイラストのスケッチなどが簡単におこなえます。

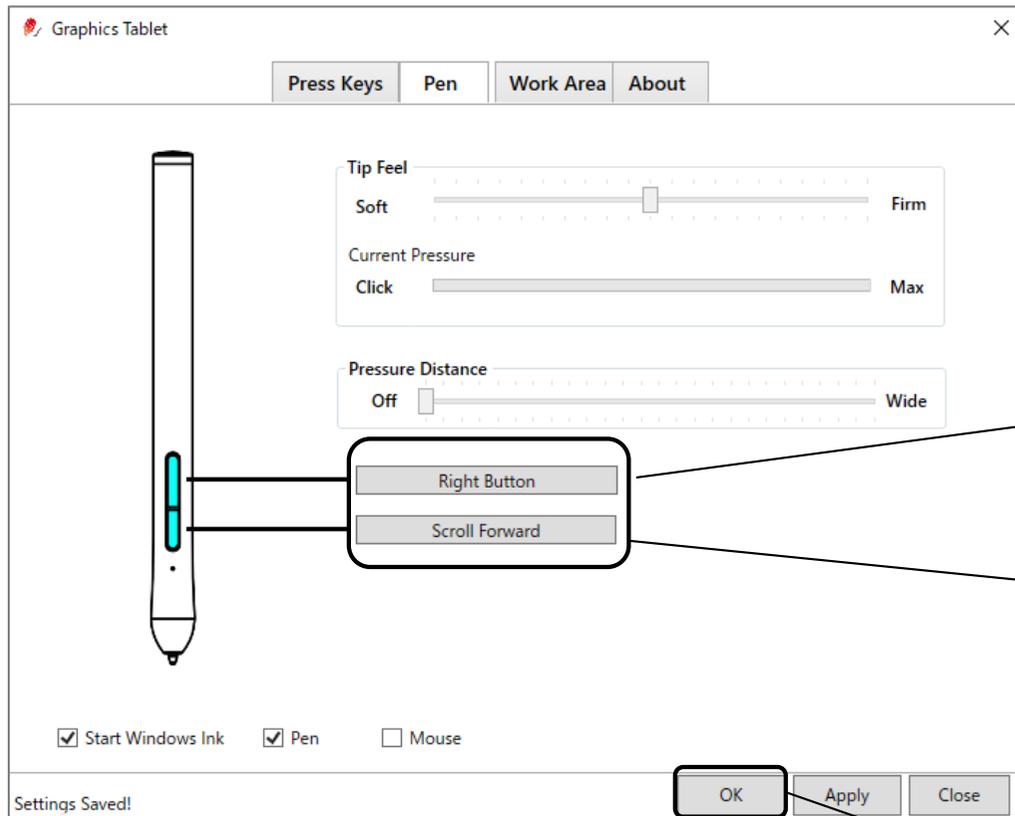


筆圧を設定すると、力の入れ加減で線の太さを変えられます。力を入れると線が太くなったり軽くなざると線が細くなります。

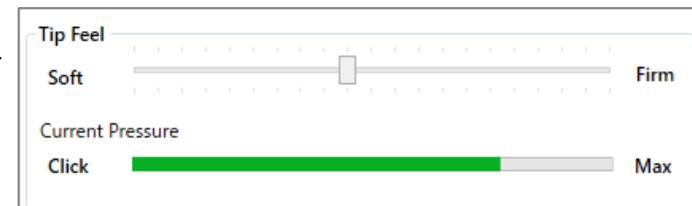
Windows 10 OneNote

①『Graphics Tablet』を起動しペンの筆圧を設定します。

②強弱のある線を描くことができます。



①「soft」(柔らかい)または「Film」(硬い)側にスライド



②描画面にてペンをタッチしながら現在の筆圧を確認

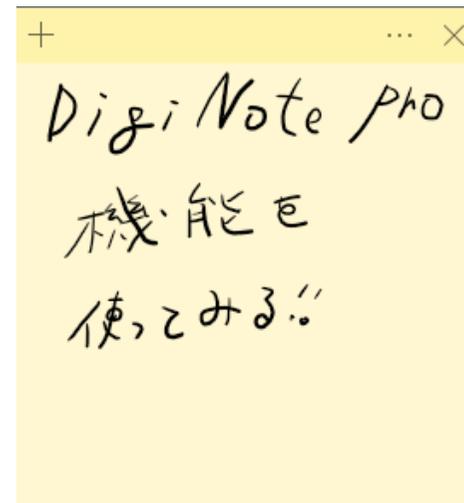
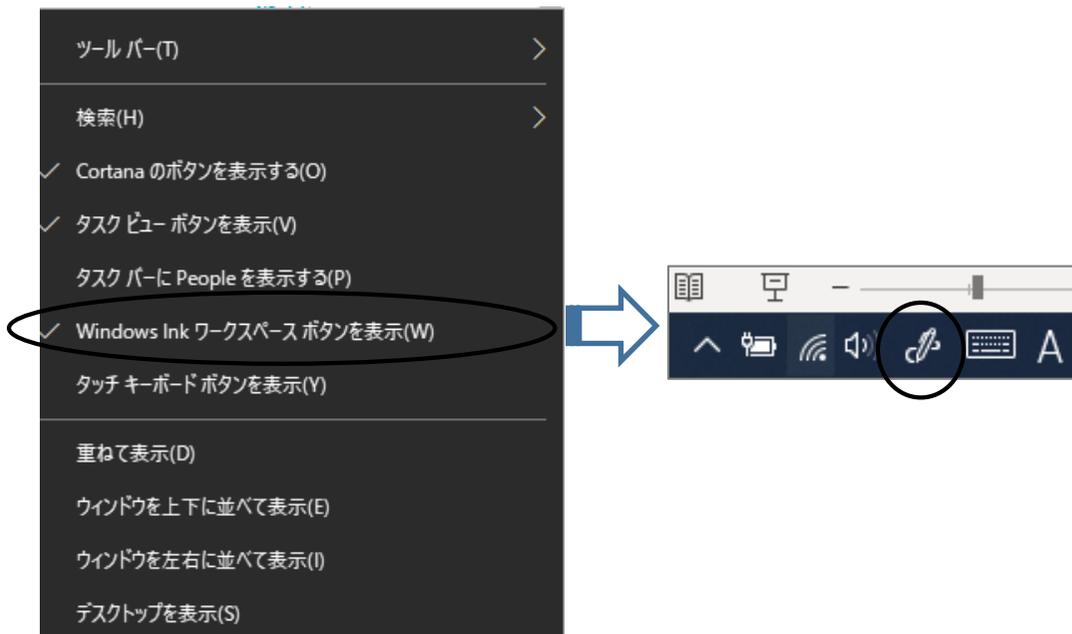
③クリック

Windows Inkワークスペース機能

◆手書きを想定した機能により付箋や、スケッチパッドスクリーンショットに書き込みできる「画面スケッチ」が使えます。

①「タスクバー」右クリック→「Windows Inkワークスペースボタンを表示」をクリック→チェックマークを付け選択します。

②タスクバーに表示された[Windows Inkワークスペース]のボタンをクリックすると[Windows Inkワークスペース]が表示されます。



付箋機能



Microsoft Whiteboard

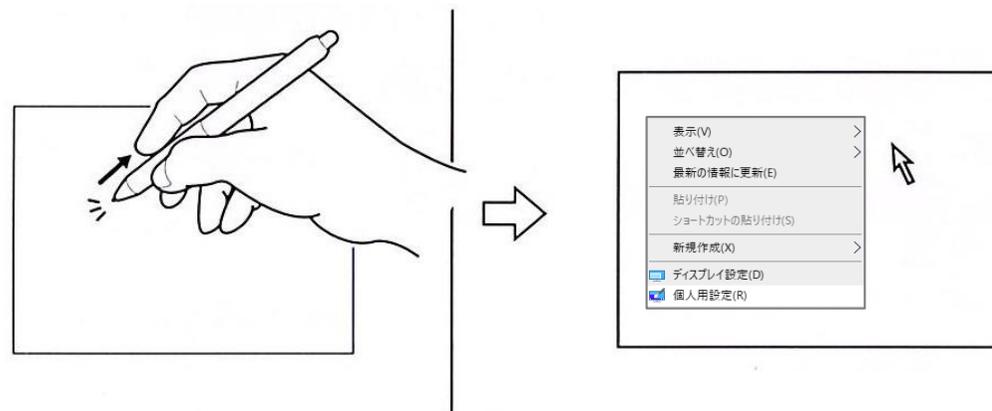
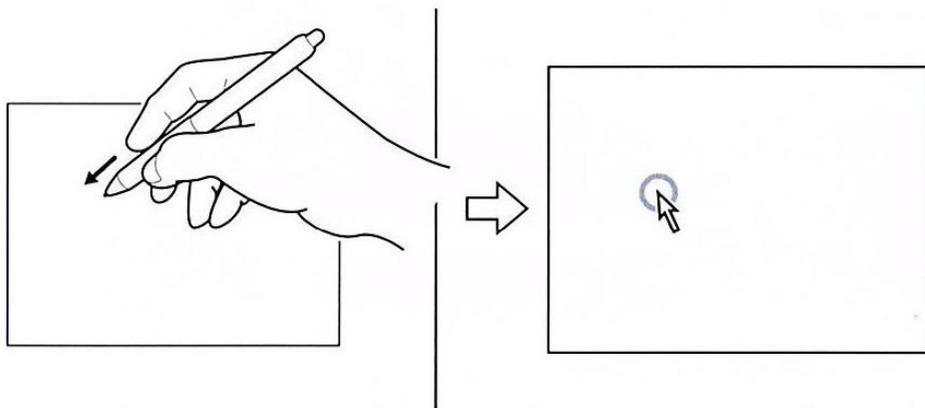
右クリック操作

◆プレス&ホールド機能

ペンでマウスの右ボタンクリックを簡単に操作できます。

① ペンで操作面を軽く押し続けます。
画面上の矢印カーソルのまわりに小さい円が表示されます。

② ペンを描画画面から離します。
ポップアップメニューが表示されます。



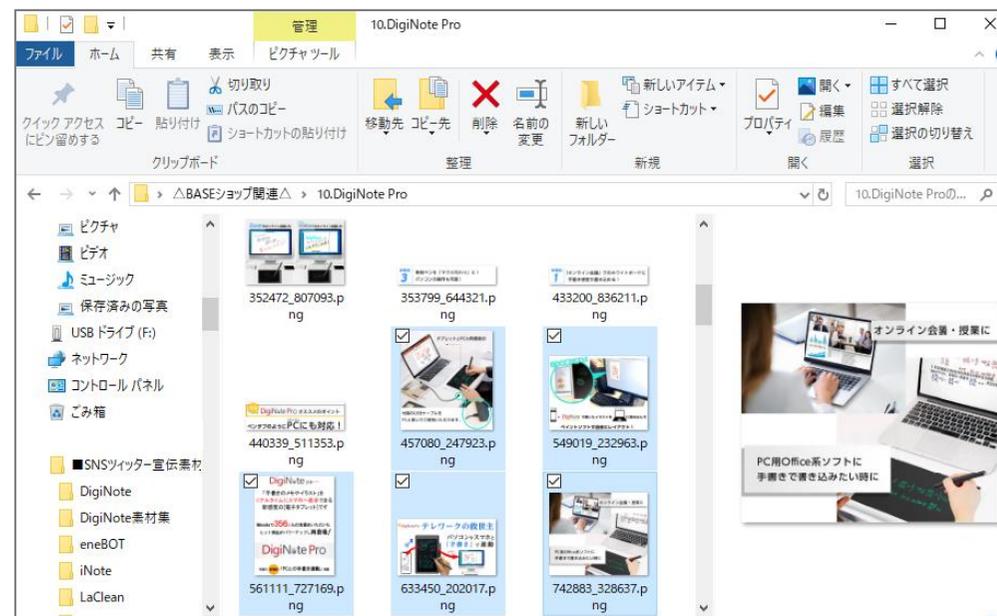
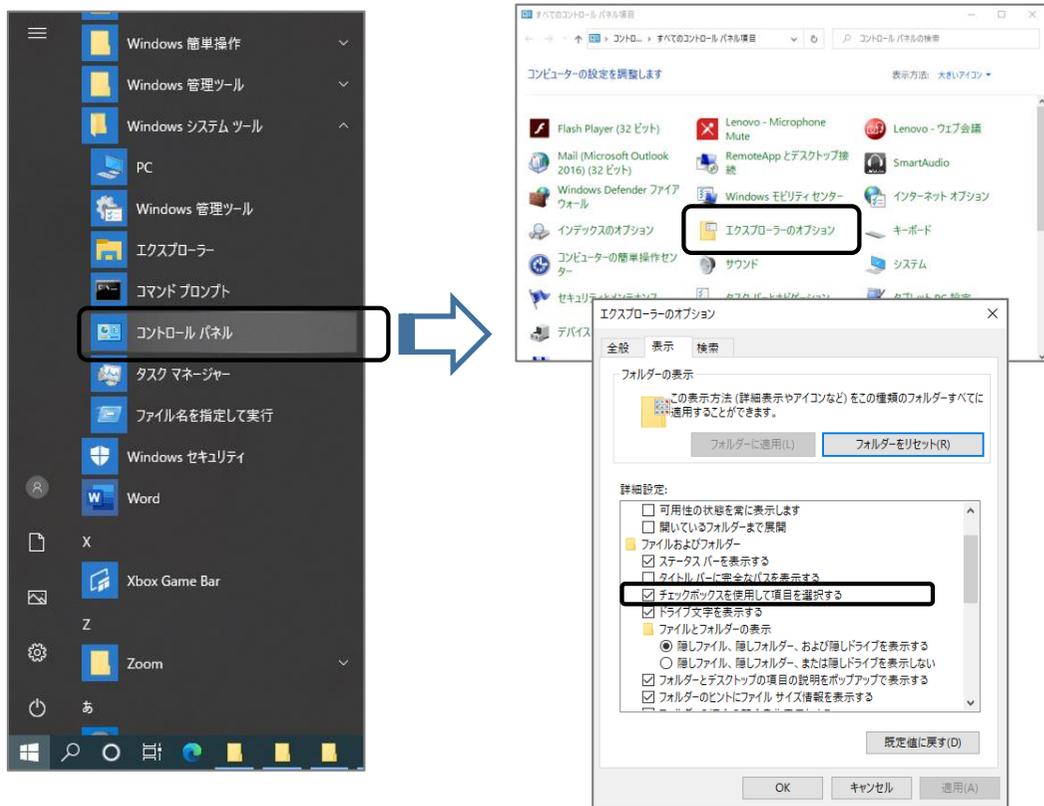
チェックボックス

◆キーボードいらずで複数ファイル選択

エクスプローラチェックボックス機能で、キーボードを使わずに複数のファイルを選択できます。選択したファイルは、グループとして移動、コピー、削除できます。

- ①「スタート」ボタン→[W]までスクロールして、「Windows システム ツール」→「コントロールパネル」→「エクスプローラーのオプション」→「表示」→「チェックボックスを使用して項目を選択する」をチェックします。「OK」ボタンを押します。

- ②チェックボックスをチェックすることで、複数のファイルが同時に選択できます。

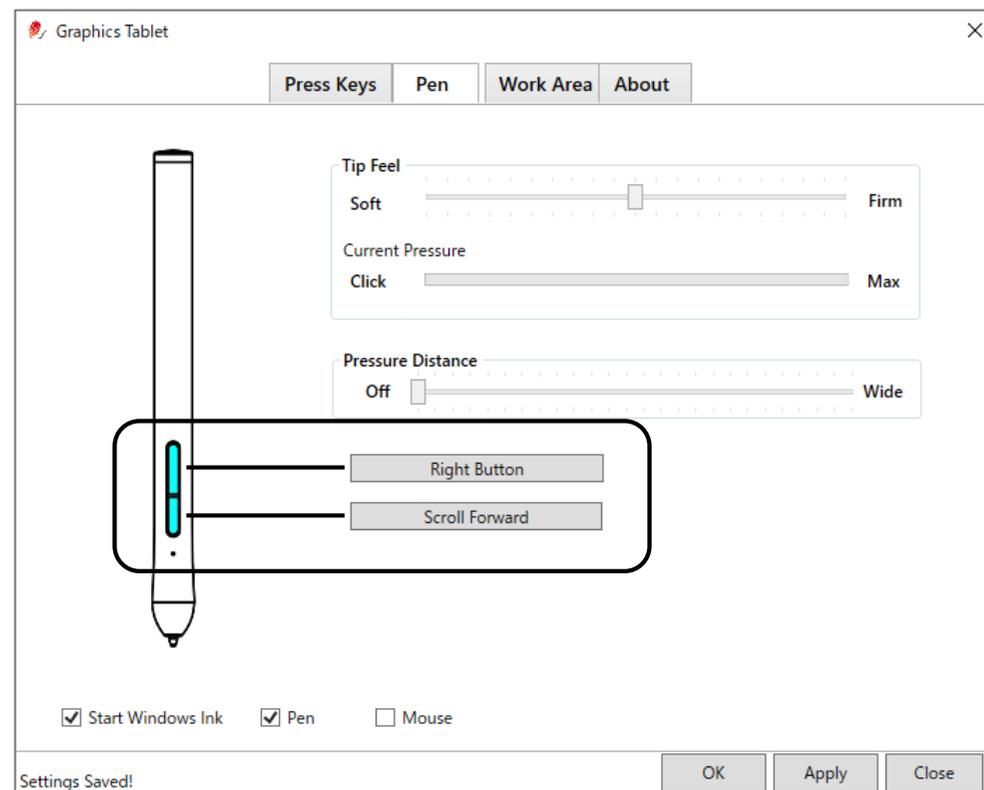
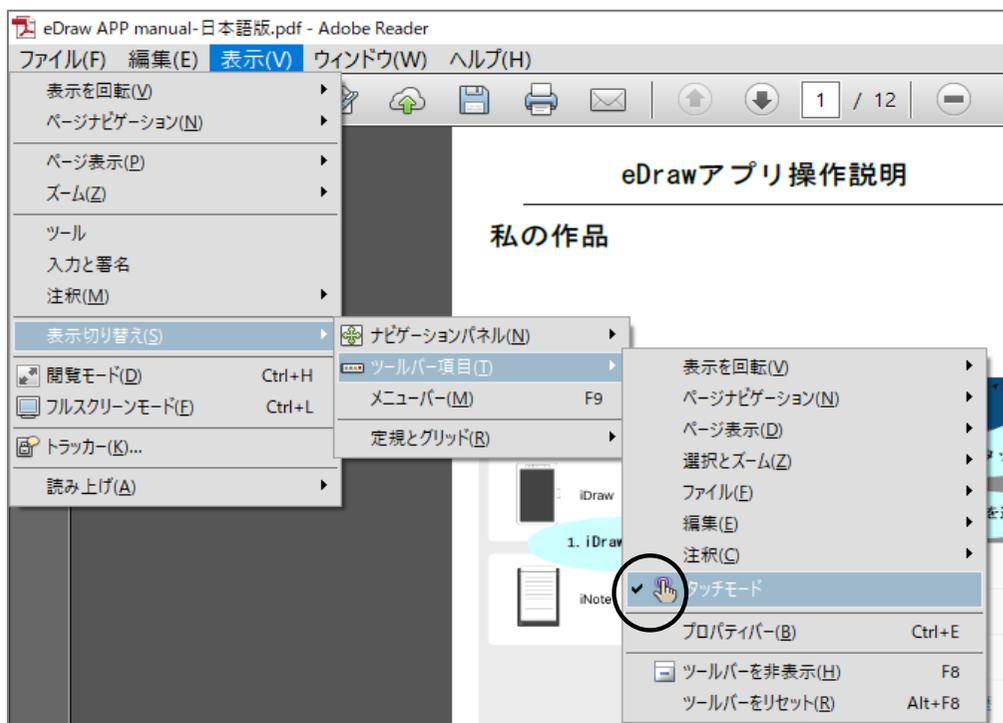


手のひらツール機能

◆ペンでドラッグして画面スクロール

Adobe reader等でお使いになれます。複数枚ある書類のページをめくるように、上下にページを移動することができます。

- ① Adobe readerを起動します。
- ②「表示」→「表示切替」→「ツールバー項目」→「タッチモード」を選択します。
- ③スクロールバーを使う代わりに、手のひらツールで画面を動かすことができます。



ペンボタンに『Scroll Forward』『Scroll BackWard』とカスタマイズ設定すると他のソフトでも同様にスクロールが出来ます。